

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
37.(社)日本助産師会	44.45.47.48.49.50.52.	<p>44) 虐待による死亡の防止, 45) 虐待の発生予防、早期発見・対応、児の保護・支援の推進, 47) 子どもを虐待していると思う親への支援の強化, 48) 親がゆったりとした気分で子どもと過ごすための支援の推進, 49) 育児について相談できる環境の整備, 50) 父親が育児に参加できる環境の整備, 52) 母乳育児の推進に対して</p> <p>(1)47支部における「子育て・女性健康支援センター」における無料電話相談などの相談事業を実施した。70,901件の相談があった。</p> <p>(2)産後ケア事業の推進 受諾してくれる市町村を増加するための要望活動を実施した。</p> <p>(3)継続母子訪問モデル事業(※) 生後2ヵ月以内に同じ助産師が5回継続的に訪問する。5地区、延175事例を訪問した。</p> <p>(4)相談員育成のための研修会の開催</p> <p>①「母子訪問指導者研修会」を2地区(東京・大阪)で開催し、合計184名の参加があった。</p> <p>②「乳幼児虐待防止指導研修会の開催(大阪)し、25名受講した。</p> <p>③母子訪問指導員への教育のための教材ビデオや「助産師のための子ども虐待防止のための実践マニュアル」、「継続母子訪問モデル事業に関する報告書」を作成し、支部をはじめ関連機関等240ヶ所に配布した。(※)</p>	<p>44) 虐待による死亡の防止, 45) 虐待の発生予防、早期発見・対応、児の保護・支援の推進, 47) 子どもを虐待していると思う親への支援の強化, 48) 親がゆったりとした気分で子どもと過ごすための支援の推進, 49) 育児について相談できる環境の整備, 50) 父親が育児に参加できる環境の整備, 52) 母乳育児の推進に対して</p> <p>(1)47支部における「子育て・女性健康支援センター」における無料電話相談などの相談事業を実施する。</p> <p>(2)産後ケア事業の推進 受諾してくれる市町村を増加するための要望活動を実施する。</p> <p>(3)相談員育成のための研修会の開催</p> <p>①「母子訪問指導者研修会」を2地区(東京・大阪)で開催する。</p> <p>②「乳幼児虐待防止指導研修会の開催(大阪)する。</p> <p>③母子訪問指導員への教育のための「母子訪問指導マニュアル」を作成し、その普及(有料)を図る。</p> <p>(4)子育て支援団体と共「子育て支援」のイベントに参加 平成16年11月3日の「いいお産の日」等に参加する。</p> <p>(5)「子育て・女性健康支援センター」活動の評価に関する検討を行う。(※)</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
37. (社)日本助産師会		<p>(5)子育て支援団体と共「子育て支援」のイベントに参加 平成15年11月3日の「いいお産の日」等に参加し、パネルの展示等を行った。</p> <p>49) 育児について相談できる環境の整備に対して (1)47支部における「子育て・女性健康支援センター」における無料電話相談等の相談事業を実施した。</p> <p>50) 父親が育児に参加できる環境の整備に対して (1)全国の助産所・病院等における両親学級の開催、立会い出産の推奨を行った。</p> <p>52) 母乳育児の推進に対して (1)47支部における「子育て・女性健康支援センター」における無料電話相談事業の実施。 (2)「乳房ケア」の研修会を2回開催し(東京・大阪)、116名の参加があった。</p> <p>(※)平成15年度独立行政法人福祉医療機構「子育て支援基金」(一般分)助成事業</p>	<p>49) 育児について相談できる環境の整備に対して (1)47支部における「子育て・女性健康支援センター」における無料電話相談等の相談事業を実施する。</p> <p>50) 父親が育児に参加できる環境の整備に対して (1)全国の助産所・病院等における両親学級の開催、立会い出産の推奨を行う。</p> <p>52) 母乳育児の推進に対して (1)47支部における「子育て・女性健康支援センター」における無料電話相談事業の実施。 (2)「乳房ケア」の研修会を2回開催し(東京・大阪)、指導者の育成を図る。</p> <p>(※)平成16年度独立行政法人福祉医療機構「子育て支援基金」(一般分)助成事業</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
39. 日本赤十字社	46.49.	<p>運営する児童福祉施設において、以下の子育て支援事業を実施した。</p> <p>(乳児院 8施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ デイケア 2施設 ・ ショートステイ 4施設 ・ 育児体験教室 4施設 ・ 育児相談 4施設 ・ 乳幼児健康支援一時預かり 5施設 ・ 赤十字幼児安全法講習 5施設 <p>(保育所 3施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一時的保育事業 1施設 ・ 保育相談 1施設 ・ 体験保育 1施設 ・ 赤十字幼児安全法講習 2施設 <p>(児童養護施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 育児相談 1施設 <p>このほか、松本赤十字乳児院において外国人母親支援事業として日本語教室を開催している。秋田赤十字乳児院においては乳幼児夜間ほっとダイヤルを開設するなど地域の実情に応じた子育て支援を行っている。</p> <p>なお、赤十字の講習事業の1つである幼児安全法の開催を促進するため、すべての児童福祉施設に心肺蘇生法訓練人形（乳児及び幼児用）の整備を行い、地域の子育て支援の一助となるよう努めた。</p>	<p>運営する児童福祉施設において、以下の子育て支援事業を実施する予定である。</p> <p>(乳児院 8施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ デイケア 2施設 ・ ショートステイ 5施設 ・ 育児体験教室 5施設 ・ 育児相談 4施設 ・ 乳幼児健康支援一時預かり 5施設 ・ 赤十字幼児安全法講習 7施設 <p>(保育所 3施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一時的保育事業 1施設 ・ 保育相談 1施設 ・ 体験保育 1施設 ・ 赤十字幼児安全法講習 2施設 <p>(児童養護施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 育児相談 1施設 <p>平成16年度は地域の子育て支援活動に取り組む児童福祉施設に対して資金援助を行うため「児童福祉施設機能強化交付金制度」を創設し、本格的な活動に着手する。</p> <p>また、15年度に引き続き、各児童福祉施設が保持している、子育てに関するノウハウを活用して各種事業への取り組みを積極的に推進し、地域の養育能力の向上を図るよう努める。</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
40. 日本タッチケア研究会	<p>タッチケアの指導者の育成、タッチケアの科学的基礎研究、タッチケアの普及・啓蒙 (成果として、46・48・58を推進することを目指し、50・51の側面からの支援とする)</p>	<p>《タッチケアの指導者の育成》 ・第9回タッチケア指導者講習会の開催(4/6 東京 2部構成で計123名受講) ・第10回タッチケア指導者講習会の開催(12/6 沖縄 2部構成で計109名受講) ・関西医科大学附属病院での講習会(6/14 大阪 計29名受講) 《タッチケアの科学的基礎研究》 ・タッチケアの普及啓蒙に関する全国各地で行なわれている草の根的活動に対する支援(10件実施) 《タッチケアの普及・啓蒙》 ・会員(12/31現在797名)を主な対象に、活動の報告、啓発記事、投稿記事等を掲載したニュースレターTouch Care Updateを季刊で発行実施 ・第106回日本小児科学会展示会(4/25～27福岡)出展実施 ・第50回日本小児保健学会展示会(11/13～15鹿児島)出展実施・協賛</p>	<p>《タッチケアの指導者の育成》 指導者講習会は、受講希望の多い関東・関西地区で開催予定。また、第7回カンガルーケアミーティングとのジョイントにより福岡で開催。 ・第11回タッチケア指導者講習会の開催(3/26福岡 2部構成で計144名受講) ・第12回タッチケア指導者講習会の開催予定(7/17 大阪 2部構成で計100名受講予定) ・第13回タッチケア指導者講習会の開催予定(10/2 東京 2部構成で計100名受講予定) 《タッチケアの科学的基礎研究》 オイルを使用したタッチケア実施の際の安全性、有用性に関する基礎研究のプロトコルの検討、作成、実施 《タッチケアの普及・啓蒙》 ・ニュースレターTouch Care Updateの継続発行(季刊)予定 ・健常児向けマニュアルの改訂版作成予定 ・タッチケアに関する書籍作成開始予定</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
42.(社)日本保育協会	49.育児について相談できる環境の整備	<p>49 育児について相談できる環境の整備 ○育児電話相談「ママさん110番」の運営 相談日 月～金 延相談人数 3,750人 ○保育士等を対象とした研修会を実施 ・地域子育て支援センター担当者研修会A型(国庫補助事業) 目的:保育所が地域子育て支援センターとしての機能を果たすために必要な研修を行う。 参加者:386名 開催日:7月29日～8月1日 開催地:東京都 方法等:厚生労働省との共同主催。全国を対象。 ・地域子育て支援センター担当者研修会B型(国庫補助事業) 目的:保育所が地域子育て支援センターとしての機能を果たすために必要な研修を行う。 参加者:193名 開催日:12月2日～5日 開催地:東京都 方法等:厚生労働省との共同主催。全国を対象。 ・保育所保育・保健推進セミナー(日本財団助成事業) 目的:保育所の小児保健への取組みの向上に必要な研修を行う。 参加者:東京 320名 大阪 305名 開催日:東京 12月13～14日 大阪 2月28～29日 開催地:東京都、大阪府(各1回) 方法等:全国を対象</p>	<p>49 育児について相談できる環境の整備 ○育児電話相談「ママさん110番」の運営 ○保育士等を対象とした研修会を継続実施 ・地域子育て支援センター担当者研修会A型(国庫補助事業) ・地域子育て支援センター担当者研修会B型(国庫補助事業) ・保育所保育・保健推進セミナー(日本財団助成事業) 2回 ・保育所子育て相談推進セミナー(日本財団助成事業) 2回 ○保育及び子育て支援に関する調査研究(福祉医療機構「子育て支援基金」助成事業)</p>
42.(社)日本保育協会		<p>・保育所子育て相談推進セミナー(日本財団助成事業) 目的:保育所における子育て相談に対応できる保育士養成に必要な研修を行う。 参加者:東京 265名 大阪 295名 開催日:東京 11月2～3日 大阪 1月10～11日 開催地:東京都、大阪府(各1回) 方法等:全国を対象 ○地域に開かれた保育所の活動に関する調査研究(福祉医療機構「子育て支援基金」助成事業) ・モデル的な保育所を選定し、地域における子育て支援活動の取組み実例の調査報告書を作成・配布</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
44. 日本母性衛生学会	44.45.46.47.48.49.50.51.52.	<p>子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減 学会誌での取組</p> <p>45 虐待の発生予防 「母性衛生」44巻4号 ・母子関係よりみる母性意識形成要因（湯舟貞子）</p> <p>46 子育てに自信が持てるような支援の促進 「母性衛生」44巻1号 乳幼児を持つ母親の母性の発達に関する縦断的研究（木船宏子） 「母性衛生」44巻2号 「わたしの育児日記」利用者の育児に関する心配ごとと育児日記との関連（飯田美代子他）</p> <p>48 親がゆったりとした気分で子どもと過ごすための支援の推進 「母性衛生」44巻2号 乳幼児を抱える専業主婦の疲労度に関する研究－ストレス・育児行動・ソーシヤルサポートに焦点をあてて－（田中満由美他） 第二子妊娠期間中における母親－第一子関係（小島康生他） 「母性衛生」44巻4号 育児ストレスの実態研究－ストレス情動反応を中心にして－（清水嘉子） 産前産後の就業継続に関する意識と育児支援の想定－妊産婦のインタビューから－（濱耕子他）</p> <p>49 育児について相談できる環境の整備 「母性衛生」44巻4号 ・育児相談者の援助と情動的共感性（清水嘉子）</p>	<p>44,45,46,47,48,49,50,51,52,53,54,55,56,57,58,59 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減 学会誌での取組 年4回発行予定の学会誌「母性衛生」での取組を推進する。</p> <p>総会・学術集会での取組 本年度第45回日本母性衛生学会学術集会において下記の講演を実施し、これらのテーマについて会員の理解と対策を深めるとともに、総合討論を行い検討考察する。 予定参加人数 約2000名(医師・助産師・看護師・保健師など) 開催 第45回日本母性衛生学会学術集会 期日 平成16年9月16・17日 場所 東京都 京王プラザホテル</p> <p>45 虐待の発生予防、早期発見・対応、児の保護・支援の推進 テーマ： 児童虐待に見る親子関係の病理と対策 講師： 渡辺久子先生（慶応大学医学部小児科）</p> <p>46 子育てに自信が持てるような支援の推進 テーマ： 育児不安への対応——子育て支援の実際 講師： 吉田弘道先生（専修大学文学部教授（発達臨床心理学））</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
 -子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
44. 日本母性衛生学会		50 父親が育児に参加できる環境の整備 「母性衛生」44巻2号 性役割観の世代間比較に関する研究－幼児と青年の父母の調査より－（我部山キヨ子他） 「母性衛生」44巻4号 1歳6カ月児をもつ母親に対する父親の育児支援行動（中山美由紀他） 52 母乳育児の推進 「母性衛生」44巻1号 ・産褥早期における母親の母乳分泌量の受け止め方（下見千恵他） 「母性衛生」44巻4号 妊娠期から産後3カ月までの母親の「母乳イメージ」の変化（池内佳子） 総会・学術集会での取組 参加人数 約2000名（医師・助産師・看護師・保健師など） 開催 第44回日本母性衛生学会学術集会 期日 平成15年10月9・10日 場所 栃木県宇都宮市栃木県総合文化センター 44.45.46.47.48.49.50.51 教育講演 「目的」 子どもの虐待の防止と虐待する親の分析 「効果」 これらのテーマに関連して桃井真理子先生（自治医科大学小児科学教授）および斎藤学先生（家族機能研究所代表）より教育講演が行われた。	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
46. 日本母乳の会	45.46.48.52.58.	<p>15、満足できる妊娠出産への支援、16、産後うつ病を含む心のケアの促進、 母子同室・母乳育児の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第12回母乳育児シンポジウムの開催 目的：母子同室・母乳育児の推進のために広く深く理解をしていただく 参加人数：1500名(産科医、小児科医、助産師、看護師、保健師、母親、父親等) 開催数、方法：年1回、京都市、京都国際会議場 効果：母乳育児の広がりを見せている。 シンポジウム実行委員会の開催 目的：シンポジウムのテーマ、講演者、内容等、論議。 参加人数：40—50名、月1回開催 効果：多くの方と論議をしながら、シンポジウムを作り上げていくので、関西地区の母乳育児が広がりを見せている。北京都母乳の会の発足 ・ワークショップの開催 目的：母乳育児の理解を深めるために、医療者の少人数によるワークショップ 参加人数：約80名 開催数、方法：年2回、10月福島県で開催 効果：東北地区の母乳育児の広がり、山形県母乳育児を応援する会の発足 	<ul style="list-style-type: none"> ・第13回母乳育児シンポジウムの開催 目的：母子同室・母乳育児の推進のために広く深く理解をしていただく 参加人数：1500名(産科医、小児科医、助産師、看護師、保健師、母親、父親等) 開催数、方法：年1回、福岡市、ホテルシーホーク&リゾート ポスター配布：2000枚 効果：母乳育児の広がりを見せている。 ・九州シンポジウム実行委員会の開催 目的：シンポジウムのテーマ、講演者、内容等、論議。 参加人数：40—50名、月1回開催 効果：多くの方と論議をしながら、シンポジウムを作り上げていくので、関西地区の母乳育児が広がりを見せていく。 ・ワークショップの開催 目的：母乳育児の理解を深めるために、医療者の少人数によるワークショップ 参加人数：約80名 開催数、方法：年1回、10月三重県で開催 効果：東北地区の母乳育児の広がり、山形県母乳育児を応援する会の発足

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
46. 日本母乳の会		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「赤ちゃんにやさしい病院・BFH」認定業務 目的：WHO・ユニセフの母乳育児推進としてのBFH認定。 森下産婦人科医院、横浜市立大学医学部附属総合市民医療センター、 あわの産婦人科医院、熊本市立熊本市市民病院、総合病院北見赤十字病院の5施設の認定申請。 効果：母乳育児推進の地域的な中心ができる ・ 全国「赤ちゃんにやさしい病院・BFH」連絡会議の開催 目的：BFH認定の30施設の現状報告、取り組み。 参加人数：約80名 効果：お互いの情報交換ができ、地域に広がりをもたらしている ・ 各地の母乳の会、および、母親グループへの講師派遣や支援 目的：地域の母乳の会、母親たちへの支援 東京、大阪、兵庫、岐阜、愛知、島根、かながわ、宮城、岩手、山形、千葉など ・ BFH申請希望病院への講演・研修会 山形、宮城、兵庫、福岡、青森 目的：BFH認定のための院内スタッフの研修 効果：BFH認定申請の増加 ・ 第10回母乳育児シンポジウム記録集発行、販売 目的：シンポジウムの記録、および広報活動の一環として 2000部作成、会員配布、各地の母乳の会、関連学会において販売 効果：シンポジウム参加者の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「赤ちゃんにやさしい病院・BFH」認定業務 目的：WHO・ユニセフの母乳育児推進としてのBFH認定。 効果：母乳育児推進の地域的な中心ができる ・ 各地の母乳の会、および、母親グループへの講師派遣や支援 目的：地域の母乳の会、母親たちへの支援 ・ BFH申請希望病院への講演・研修会 目的：BFH認定のための院内スタッフの研修 効果：BFH認定申請の増加 ・ 第11回、第12母乳育児シンポジウム記録集発行、販売 目的：シンポジウムの記録、および広報活動の一環として 2000部作成、会員配布、各地の母乳の会、関連学会において販売 効果：シンポジウム参加者の増加 ・ WHO「10カ条のエビデンス」翻訳、発行 目的：母乳育児成功のための10カ条を実践し、BFH認定のために、医療者のためのガイドブックの発行 効果：BFH病院の増加 ・ そのほか、母乳育児関連の書籍の紹介、
46. 日本母乳の会		<ul style="list-style-type: none"> ・ 小冊子「離乳食」の増刷 目的：母乳育児継続のために離乳食への医療者、母親への理解を深める 効果： ・小児科医の母乳育児アンケート調査、全国保健センターにおける母乳育児意識のアンケート調査—子ども家庭総合研究として 目的：小児科医、保健センターに対する母乳育児意識調査 効果：母乳育児の「意識の実態がわかり、今後の ・ 虐待予防研究班に参加 目的：出産直後からの母子同室、母乳育児が母親の育児の力を育てること。これが虐待予防の一要因となる 	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
47. (社団)日本薬剤師会	45	<p>45. 虐待の発生予防、早期発見・対応、児の保護・支援の推進 ①健やか親子21第4課題における『「子育て支援ネットワーク」づくりのためのワーキンググループ』（座長：前川喜平日本小児保健協会会長）の中で、「健やか親子21ワーキングショップ, 03」の企画検討に参加。担当常務理事が合同活動報告会に出席。</p>	<p>45. 虐待の発生予防、早期発見・対応、児の保護・支援の推進 ①健やか親子21第4課題における『「子育て支援ネットワーク」づくりのためのワーキンググループ』（座長：前川喜平日本小児保健協会会長）の中で、「子供虐待早期発見システム」の検討（「健やか親子21ワーキングショップ, 03」にて①周産期からの支援システムを考える、②子育て支援活動の広がりを考える、③支援グループのネットワーク化が検討されさらに議論が進む）に参画。（継続） また、同ワーキンググループの検討結果を踏まえ、今後、各都道府県レベル等で設置が想定されるネットワークづくりに対しては、地域薬剤師会レベルでも積極的に参加、協力を行う予定。</p>
48. (社団)日本理学療法士協会	46.48.53.	<p>46子育てに自信がもてるような支援の推進 48親がゆったりとした気分で子どもと過ごすための支援の推進 *小児領域の理学療法士の育成；県士会による現職者研修活動を各地で行った。</p> <p>53周産期医療施設から退院したハイリスク児へのフォロー体制の確立 * 特別支援教育(文部科学省)との協応体制の検討 理学療法士の支援が有効な「特別な支援の必要な子ども」の経年的(継続的)支援の方法について検討した。 第6回母子保健福祉研修会を実施した。 ・平成15年2月22日(日)に第6回母子保健福祉研修会を協会会館にて開催した。 ・テーマは、「健やか親子21」を積極的に推進する目的で、「健やか親子21公式ホームページおよびデータベースを使いこなそう」とした。内容は、山梨大学大学院医学工学総合研究部保健学Ⅱ講座の山縣然太郎教授らによるインターネットを用いた支援方法の講義と演習を行った。</p>	<p>46子育てに自信がもてるような支援の推進 48親がゆったりとした気分で子どもと過ごすための支援の推進 *小児領域の理学療法士の育成 目的：運動障害児、病弱児、等の育児支援のできる理学療法士を多く育成する 効果：老人支援にかかわる理学療法士に比べて極端に少ない小児支援に係わる理学療法士を育成することで、障害児を持つ親への充実した指導が行え、生活にゆとりを持てる親が多くなる。</p> <p>53周産期医療施設から退院したハイリスク児へのフォロー体制の確立 * 特別支援教育(文部科学省)との協応体制の検討 理学療法士の支援が有効な「特別な支援の必要な子ども」の経年的(継続的)支援の方法について考えてゆく。 目的：「特別な支援のある子ども」の教育リハビリテーションの充実 効果：義務教育過程にある「特別な支援の必要な」児童・生徒に、理学療法士が今以上に多く支援できれば、肢体不自由児や病弱児・等の教育が充実するものと考えられる。 課題：そのためには、特別支援教育に理学療法士資格で介入できるシステムの導入と教育を行える理学療法士の育成が必要である。</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
49. (財)母子衛生研究会		<p>「健やか親子21」課題1～4に関すること全般 * 「母子保健指導者研修会」の実施 目的：母子保健に関する正しく且つ新しい情報の伝達。 参加人数(対象者)：10,500名(行政担当者、保健師、助産師、栄養士、保育士、その他母子保健・児童福祉関係者) 開催数、方法等：46回(厚生労働省、開催地区自治体、関係団体等の後援にて開催) 全国都道府県で実施 効果、その他：妊婦や育児中の母親と直接接する関係者に最新情報を提供することで、育児不安や虐待等母子保健が直面している問題の一助となることが期待される。 * 「これからの母子保健を考えるシンポジウム」の実施 目的：母子保健の懸念されている事柄について、問題提起とその対応について考える。 参加人数(対象者)：350名(行政担当者、保健師、助産師、栄養士、保育士、その他母子保健・児童福祉関係者) 開催数、方法等：1回(厚生労働省、関係団体等の後援にて開催) 東京都で実施 効果、その他：各方面の専門家の意見を聞くことで、問題がより明白となり、多角的に問題に取り組めることが期待される。</p>	<p>「健やか親子21」課題1～4に関すること全般 * 「母子保健指導者研修会」の実施 参加人数：10,500名(行政担当者、保健師、助産師、栄養士、保育士、その他母子保健・児童福祉関係者)を予定。 開催数、方法等：47回(全国都道府県で実施予定) * 「これからの母子保健を考えるシンポジウム」の実施 参加人数：350名(行政担当者、保健師、助産師、栄養士、保育士、その他母子保健・児童福祉関係者)を予定 開催数、方法等：1回(東京都で実施予定)</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
 -子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
49. (財)母子衛生研究会	46.48.52.	<p>46、48、52等 妊娠・出産・育児全般に関すること *パンフレットの作成・配布 目的：妊娠・出産・育児についての基本的な知識、情報を得ることにより、充実した妊娠・出産・育児期を過ごすことをねらいとした母子健康手帳の副読本「赤ちゃん-そのしあわせのために」の作成・配布 配布対象者：関係機関（地方自治体等）を通じて妊娠届出者に配布 配布部数：1,500,000部 効果、その他：妊娠中や育児期の母子の生活管理、赤ちゃんへの接し方および行政サービスなどについての基本的な知識が得られることにより、育児不安の軽減がはかれる。</p> <p>46、48等 幼児期の心身の健康に関すること *パンフレットの作成・配布 目的：幼児の心と身体についての基本的な知識、情報を得ることにより、充実した育児期を過ごすことをねらいとした冊子「すこやか幼児のこころとからだ」の作成・配布 配布対象者：関係機関（地方自治体等）を通じて1歳6か月児健診、3歳児健診時に保護者へ配布 配布部数：1,500,000部 効果、その他：幼児期の育児について発育・発達、生活習慣等の基本的な知識が得られることにより、育児不安の軽減がはかれる。</p>	<p>46、48、52等 妊娠・出産・育児全般に関すること *パンフレットの作成・配布（継続実施） 母子健康手帳副読本「赤ちゃん-そのしあわせのために」の作成・配布</p> <p>46、48等 幼児期の心身の健康に関すること *パンフレットの作成・配布（継続実施） 冊子「すこやか幼児のこころとからだ」の作成・配布</p> <p>46、48、52等 妊娠・出産・育児全般に関すること *インターネット「子育てインフォ」の継続実施</p>
49. (財)母子衛生研究会		<p>46、48、52等 妊娠・出産・育児全般に関すること *インターネット「子育てインフォ」の実施 目的：快適で充実した妊娠・出産・育児期を過ごすことをねらいとし、いつでもどこからでも利用できるインターネットによる情報を実施。 対象者：妊娠・出産・育児期の保護者 効果、その他：妊娠・出産・育児についてのよくある疑問や不安に関する106項目について電話ですぐ情報が得られ、育児不安の軽減がはかれる。</p>	